

春色のなごやかな季節、皆様に於かれましてはお元気でお過ごしのことと存じます。

この冬は「暖冬」や「雪不足」が話題の中心で「冬らしくない」と感じておられる方も多いことと思います。

新型コロナウイルスの感染が全国的に広がってきており、皆様には何かとご不自由をおかけしております。現在の県の対応につきましては、最終ページをご覧くださいと存じます。

さて、3月定例会では、予算1兆1千余億円、予算外49ヶ件、意見書7ヶ件を可決し3月17日に閉会を致しました。

また、11月定例会で新しい委員会構成となり活動しております。常任委員会は農林水産委員会、そして特別委員会では地域再生対策調査特別委員会に配属になり、委員長に互選いただきました。大変難しい委員会と自認し精いっぱい努力を致す所存であります。

私が、微力ながら議員として活動を継続出来るのも、皆様のご支援を頂いたおかげと感謝し心からお礼を申し上げます。引き続きご指導をお願いいたします。

4月から新年度がスタート致しますが、私も気を引き締め宮城県・登米市のため活動してまいります。皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

宮城県議会議員 わたなべ 忠悦



錦織バイパス開通式にて祝辞の様子

市内トピックス

錦織バイパス開通!!

国道346号は仙台市を起点とし、登米市を経て、気仙沼市に至延長約114kmの広域的な幹線道路であり、三陸自動車道や東北縦貫自動車道へのアクセス道路としての役割なども担う重要な路線です。

平成19年度からバイパスによる整備を進めており、このたび、道路工事の完了に伴い、

令和2年3月7日に供用を開始することとなりました。

今回の供用により、本地区を迂回した安全で円滑な交通が確保されるとともに、登米地区と気仙沼地区の地域間交流の促進や、産業・観光振興など大いに寄与するものと期待されております。



開通式会場の様子



錦織バイパス開通・走り初めの様子

活動アルバム

宮城県議会訪問(令和2年1月)



加美町訪問 猪股町長(中央)・大河原伊勢町議(左)とともに



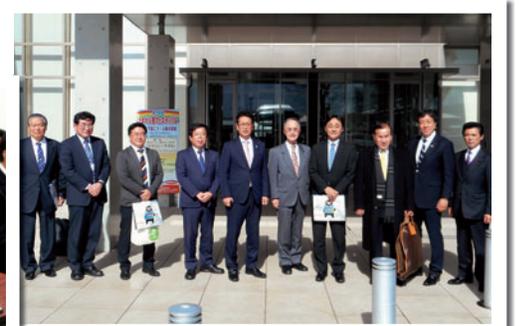
11月定例会 予算特別委員会にて



農林水産委員会(宮崎にて)



令和2年1月11日成人式祝辞



株式会社あつまるホールディングス訪問(熊本県山鹿市 令和2年1月)

わたなべ忠悦は、常に皆さんの生きた暮らしをみつめます。

活動のリズム、ひらめきの音



主な一般質問要旨 & 回答要旨

令和元年9月予算特別委員会

養豚業者を取り巻く環境について



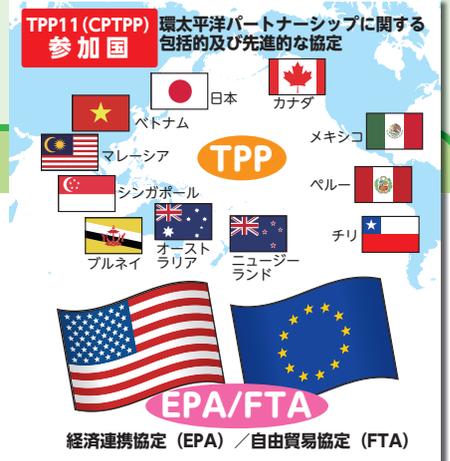
質問

養豚業者を取り巻く環境は厳しく、TPP11や日欧EPA及びアメリカとの条約などにより、豚肉の輸入量が増えるのではと養豚家がかなり心配をしております。その辺について、県の認識はどうかお伺いします。

【答弁】 農政部長

TPP11などの発効後、月別に見ると変動はあるものの、現在のところ輸入量の大きな増加やそれに伴う価格の下落というようなものは認められてないと考えております。ただ今後、更に年度ごとに関税が引き下げになり、日米貿易協定等の合意もあるので、輸入動向や価格の動きを注視しながら、その影響を見きわめていくことが必要であると考えております。

畜産の行方



養豚業者の減少と対策について



質問

登米市内で酒粕を食べさせた豚や、田んぼに放し飼いにした豚など、非常に努力しながら飼養技術を高めている養豚業者がおります。現在県内に116者がいるとお話をいただきましたが、現状は、養豚業は減少しております。この辺についての認識と、何か対応がございましたらお伺いします。

【答弁】 農政部長

我が県の養豚は、飼養頭数、飼養戸数ともに減少が続いており原因につきましては、やはり高齢化の進展や、担い手の不足、また、環境に起因する諸問題などが考えられると思っております。この対策として、引き続き畜産クラスター事業や県で育成した優良系統の豚であるしもふりレッド等を活用しながらブランド化を進め、養豚農家の方の体質強化を図っていくことを進めております。

畜産向上・強化



豚の疾病について



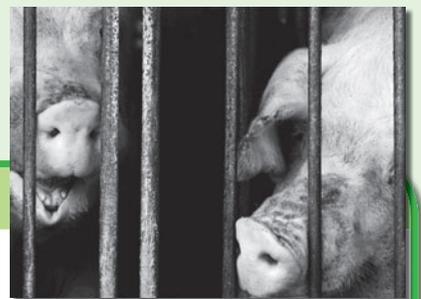
質問

豚熱^{*1}を初め PED^{*2}、それから韓国ではアフリカ豚熱^{*3}など様々な疾病があり、養豚業者の不安に対し県として対応が必要と思っておりますがどうお考えですか。

【答弁】 農政部長

豚の疾病としては、農場においてきちんと消毒の定期的な実施や消毒槽の設置等で、飼養衛生管理を守っていただくというのが重要だと考えております。豚熱については農場への感染野生動物、感染したイノシシ等の侵入防止策が大事だと考えており、農場周囲の防護柵の設置等を、国の事業などをうまく使いながら養豚農家に支援をしていきたいと考えております。

畜産向上・強化



感染の原因を作らないことが重要

豚の疾病

- ※1 豚熱 (CSF)：CSF ウイルスの感染による豚とイノシシの病気。強い伝染力と高い致死率が特徴で、人には感染しない。家畜伝染病予防法によって、指定家畜伝染病に指定されている。
- ※2 豚流行性下痢 (PED)：豚流行性下痢ウイルス感染を原因とする豚および猪の感染症。人には感染しない。届出伝染病 (家畜伝染病予防法)。
- ※3 アフリカ豚熱 (ASF アフリカ豚熱)：ASF ウイルスが豚やいのししに感染する伝染病であり、人には感染しない。発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病。ダニの媒介や家畜の接触で感染する。指定届出伝染病 (家畜伝染病予防法)。

※質疑応答記事内に使用されている画像はすべてイメージです。

令和元年11月定例県議会 予算特別委員会



質問

今回の南沢川の氾濫は、上流の間伐材や倒木、法面崩壊による土砂などが多量に流出し河床に堆積したことにより、河道断面が小さくなったことが原因だと思いますがどうお考えですか。

【答弁】 土木部長

南沢川は、今回の台風によりり崩れなど9カ所の被災が発生しており、ご指摘通り間伐材、倒木、土砂などが大量に流出してしまい、河床に堆積したことが逸水の要因の一つだったと考えております。今回の被災事情を検証し必要な対策を講じて参りたいと思います。

災害復興問題



河川氾濫の爪痕(台風19号)



質問

間伐材や倒木が下流の橋梁等への流入を阻止する手段を講じる必要があると思いますが、どうお考えですか。

【答弁】 土木部長

土砂流出の抑制を図るためこれまでは、治山ダム・砂防ダム等の整備を進めて来ましたが、平成29年7月の九州北部豪雨で流木災害がありました。それを踏まえ流木捕捉機能を有したダムの整備を進めており、現在我が県に4基設置しております。今後も、この様なダムの整備と合わせて流木化する立木除去等を実施し、対策を講じていきたいと考えております。

河川・道路管理



令和元年9月定例会 9月20日 予算特別委員会 総括質疑

農地再生整備について



質問

旧迫川沿岸土地改良区では、40年代からほ場整備が進められていますが、現在の機械化農業に適していない為、再度区画整理をして頂きたいと要望があります。県はどうお考えですか。

【答弁】 土木部長

登米市のほ場整備率は85%と県内で最も進んでいます。ほ場の大きさは30aが大半を占めていおります。耕作道路や排水路等を活かしながら、畦畔を撤去する簡易な形での整備による区画拡大について、地元関係者等と勉強会を開催し工事に向けて取り組んでおります。

土地改良・管理

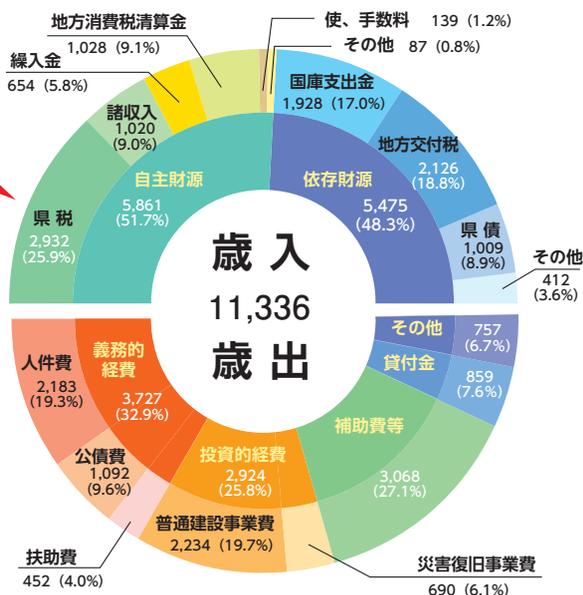


令和2年度当初予算

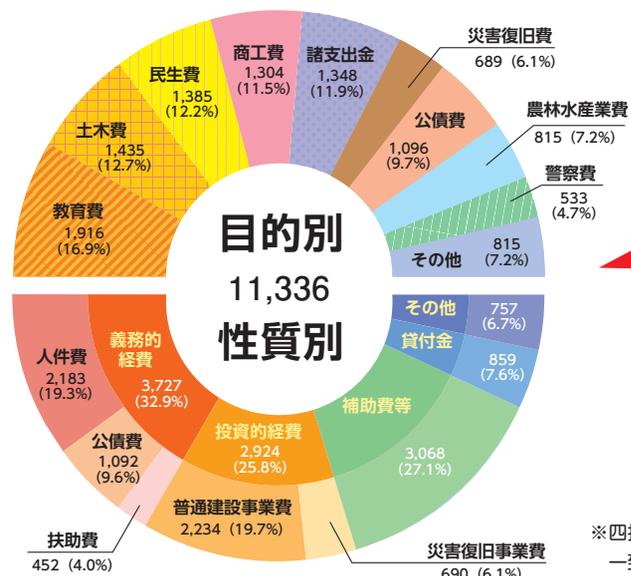
記者発表資料付属資料 令和2年2月 総務部財政課

一般会計

単位：億円



目的別 性質別



一般会計 歳出予算の構成

単位：億円

※四捨五入のため内訳が合計と一致しない場合があります。

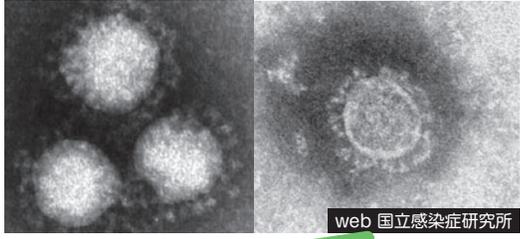
トピックス 新型コロナウイルスについて



新型コロナウイルスを防ぐには

どんな症状？

新型コロナウイルス感染症とは



web 国立感染症研究所

発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。

感染しても軽症であったり、治る例も多いですが、季節性インフルエンザと比べ、重症化するリスクが高いと考えられます。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。特にご高齢の方や、基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性があります。



感染はどこから？

ひまつ 飛沫感染と接触感染により感染します。

空気感染は起きていないと考えられていますが、閉鎖された空間・近距離での、多人数の会話等には注意が必要です。



こんな方はご注意ください

次の症状がある方は、「相談窓口（コールセンター）」にご相談ください。

- 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。
- 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合（ただし、持病がある方は、事前に電話でかかりつけ医にご相談ください。）

お問い合わせ先

宮城県健康相談窓口（コールセンター）

電話番号 022-211-3883

受付時間 24時間（土日・祝日も実施）

聴覚や言語に障害のある方専用

FAX 022-211-3192

E-mail : sodan-corona@pref.miyagi.lg.jp

通訳が必要な人の一般電話相談窓口
（みやぎ外国人相談センター）

電話番号 022-275-9990

受付時間 9:00～17:00（月～金曜日）

日常生活で気を付けること

▶ まずは手洗いが大切です。

外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。



▶ 咳エチケットを行いましょう。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気を移す危険があります。咳エチケットを行いましょう。

やむをえず咳をするときのエチケットを知っておこう。



▶ 持病がある方、ご高齢の方

できるだけ人混みを避けるなど、より一層注意してください。



【宮城県の対応】

1. 情報連絡体制の整備 1月27日：新型コロナウイルス感染症対策本部設置 / 2月21日：新型コロナウイルス感染症対策本部登米地方対策本部設置 / 2月25日、3月2日：会議開催
2. 県民等への周知・相談体制の整備 2月4日：コールセンターの開設（仙台市と共同開設。2月22日から：24時間対応体制）相談件数4,901件（3月9日対応分までの件数） / 知事定例記者会見、県ホームページやチラシによる周知・注意喚起
3. 医療体制の確保 ・感染症指定医療機関（7病院）・2月4日：帰国者、接触者外来（16箇所）
4. 検査体制の整備 ・県内検査機関2箇所（1月20日：宮城県保険環境センター、仙台市衛生研究所にて、検体対応可） 詳細は県ホームページを参照して下さい。

発熱等の風邪の症状がみられるときは、学校や会社を休んでください。

発熱等の風邪症状がみられたら、毎日、体温を測定して記録してください。

お問い合わせ

宮城県議会議員 わたなべ忠悦事務所
所在地：〒987-0511 登米市迫町佐沼字大綱 534
TEL：0220-23-7757 FAX：23-7838
E-Mail：tkdmg013@ybb.ne.jp

オフィシャルウェブサイト <http://watanabe-chuetsu.jp>

渡辺忠悦 検索

近所にお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。
どんな小さなことでもよろしいのでお話を聞かせて下さい。

